開通を祝う会盛大に

城山トンネルが供用開始

地元念願の拡幅実現

テープカットで完成を祝った

海南　県が拡幅工事を行い、昨年6月から通行止めになっていた、海南市黒江と日方地区を結ぶ都市計画道路・黒江築地線の城山トンネルが完成し、24日に供用を開始した。開通した区間は170㍍（うちトンネル113㍍、幅12㍍）で、新トンネルは以前の2倍以上の幅に広がり、車道の両側に幅2・5㍍の歩道とフェンスを整備。渋滞緩和など利便性と安全性が向上した。

開通を祝って同日午前9時から、市主催の「城山トンネル開通を祝う会」が盛大に催され、来賓や地元住民ら約200人が出席した。

はじめに、神出政巳市長が「地域のみなさまと共に心待ちにしていた城山トンネルが完成し、感慨無量の思い。地場産業や観光振興などの経済活動面でも大きな力を発揮すると期待している」と式辞を述べた。

続いて来賓祝辞が行われ、仁坂吉伸知事は「すべての道は海南に通じるを目標に、さらに都市計画道路の拡充を図っていきたい」、石田真敏衆院議員は「大掛かりな改修で素晴らしいトンネルができた。関係者に感謝したい」と話した。

トンネル出入り口に掲げられた「城山トンネル」の銘板は地元の小学生が揮毫。黒江側は海南中学校1年（当時黒江小）の田中葉月さん、日方側は日方小学校5年の田中拓海君が担当し、式典で紹介された。

トンネルを通り初めする地元住民ら

この写真いごくでAR

海南中学校吹奏楽部による祝賀演奏の後テープカットが行われ、住民らは黒江側から日方側に向かって徒歩で通り初めを行った。

黒江船尾地区連合自治会長の冨士順一郎さん（82）は「20年来の悲願がかなった。両側に歩道があり、どこにもない転倒防止の柵を作るなど、素敵なトンネルが出来上がった」、日方地区連合自治会長の上野山高正さん（91）は「これまで何回も拡幅工事の話が持ち上がったが、今回は本当に完成してうれしい」と笑顔で話していた。

黒江築地線は、海南市内を南北に縦断する延長約1・2キロの都市計画道路。拡幅前の城山トンネルは63年前の昭和27年に作られたもので、幅5・4㍍と狭く、老朽化と歩行者の安全が課題だった。

県は平成24年度に事業着手し、昨年6月からトンネル内を上下通行止めにして工事を進めてきた。地元住民の協力や業者の努力で当初の予定より2カ月以上早く工事は完成した。

総事業費約8億円（うちトンネル約6億円）。施工は㈱淺川組（栗生泰廣取締役社長）＝和歌山市＝と、木下建設㈱（木下英文代表取締役）＝有田市＝の淺川・木下特定建設工事共同企業体。設計は基礎地盤コンサルタンツ㈱和歌山事務所（十河和人所長）＝和歌山市＝。

ビルメンテナンス
株式会社 南北
和歌山市関戸5丁目7-16
☎073-444-3511

闇を照らす800の思い

がん患者支援RFL閉会

和歌山　がん患者の支援やがんの征圧を目指す国際的なチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ（RFL）ジャパン2015和歌山」が24日に閉会した。会場の和歌山城砂の丸広場では、24時間夜通しで歩く「リレーウオーク」に23日から合わせて約700人が参加。寄付金は約210万円が寄せられた。

開会した23日の夕方から、がんに対するメッセージを込めた約800個のろうそく「ルミナリエ」がともった。「頑張らないで、諦めないで」「医療技術が進歩しますように」など思い思いの言葉が添えられていた。

会場にともるルミナリエ

この写真いごくでAR

RFLは米国で昭和60年に発祥し、日本では平成18年に始まり、和歌山では平成18年に始

わかやま wakayama 新報 SHIMPO
5月26日 火曜日
2015年（平成27年）第20691号
（日曜・祝日・休日翌日休刊）

オークワ
ポイントが現金に変わるカードです。
オーカード・オーカードプラス会員様募集中！
募集受付場所・時間・詳細は各店売場係員までお尋ねください。

発行所　株式会社和歌山新報社
〒640-8043 和歌山市福町49番　和歌山中橋ビル4階
電話(073)433-6111(代表)　〈編集部〉電話(073)433-6114
FAX (073)433-5440　FAX(073)433-9320
URL http://www.wakayamashimpo.co.jp/　〈営業部〉電話(073)433-6113
Eメール shimpo@titan.ocn.ne.jp　FAX(073)433-8111
郵便振替口座 00920-0-318834番　〈販売部〉電話(073)433-6112
〈わかやま新報販売所〉
和歌山市(紀の川以南)　電話(073)474-3544
上記以外の地域　電話(073)433-6112 本社販売部
月ぎめ購読料　2000円（1部売り100円）

トップ即アポの人脈力

29日 内田雅章氏が講演

有名企業1000社のトップと即アポイントメントが取れる人脈を持つという内田雅章氏の講演会『人脈力』『PR力』で和歌山を明るい未来にする方法」（わかやま新報など後援）が29日、和歌山市湊通丁北のホテルアバローム紀の国で開かれる。

内田氏は昭和45年、愛知県生まれ。早稲田大学卒業後、三和銀行（現三菱東京UFJ銀行）に入行し、30歳で銀座クラブオーナーに。昨年、トップ経営者の動画配信を行う「TOP CONNECT㈱」（東京）を設立した。これまでに34冊の著書があり、企業研修、講演、執筆などで幅広く活動している。

当日は午後7時から講演会、8時半から懇親会がある。会費5000円（懇親会込み）。申し込みはファクスで和歌山新報社内・和歌山実行委員会事務局（FAX073・433・8111）へ。問い合わせは担当・津村（TEL090・8204・9270）。

App Store からダウンロード
Google play で手に入れよう
「わかやま新報」と検索し、無料アプリをインストール。「AR」マークの写真にかざすと動画などが楽しめます。
※機種により動画再生されない場合があります。
※android2.3以前のOSについてはサポート外です。

こよみ

月齢	7.9
月出	12:10
月入	0:23
日出	4:51
日入	19:02
（小潮）	
＜和歌山港＞	
満潮	0:26
	12:11
干潮	7:10
	18:25
＜白浜＞	
満潮	11:27

干潮	6:00
	17:52
＜串本＞	
満潮	11:33

干潮	6:14
	17:56

しんぽう

大相撲夏場所序二段で優勝した坊市出身の栃乃本名山本雅貴。62年生まれの箕島高校を後、高校の先輩である春日野親方の入門。同期にノ心や松鳳山などいる。身長170と小柄で体重は0キロ。得意は切りは一回だけで、決まり手に徹底ぶりであ

◇

平成25年の夏には三段目の五まで番付を上げ壁にぶつかり、は膝を手術して場所から三場所休場。この春場序ノ口十四枚目番付を下げた。から見事復活し所は七戦全勝の撃。千秋楽に行た優勝決定戦で両経験もある飛士を引き落とした。

◇

本県出身力士勝は同22年春場同じく同市出身日野部屋の木村十両で優勝してとなる。ちなみ坊市出身の力士他に大湊（出羽屋・最高位前頭目）、大輝煌（川部屋・同前頭枚目）、和歌乃山